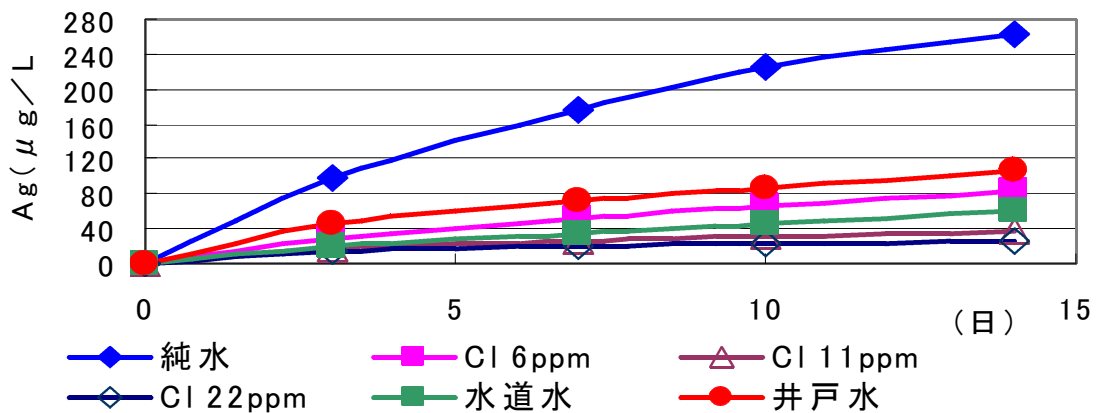


トマト根腐病に対する銀めっき資材(オクトクロス)利用上の留意点

資材からの銀の溶出は、培養液中の塩化物イオン濃度と水温に影響されます。

- 根腐れ病対策として必要とされるAg 40 μ g/Lの濃度を確保するには、培養液中のCl濃度が5mg/L以下で3日間、5~10mg/Lで7日間程度浸せきが必要(図1)。
- Cl濃度が20mg/L以上の場合はCl⁻濃度が低い雨水等で希釈が必要。
- 水質のCl濃度を簡易に測定するには、市販の測定キットを利用しましょう。



- 銀の溶出は水温に影響されます。
- Ag40 μ g/Lを確保するのに必要な期間は、水温25°Cで3日, 20°Cで7日, 15°Cで10日(図2)。

